

保管方法、包装、製造販売業者の名称・住所等

保管方法

直射日光をさけ、室温で保管してください。
必ず弊社指定のケア用品を使用し、保管してください。

包装

1個包装

製造販売業者の名称・住所等

製造販売業者及び製造業者
株式会社サンコンタクトレンズ
〒600-8814 京都市下京区中堂寺庄ノ内町46-1

<症状に関するお問い合わせ>

処方を受けた眼科・クリニックにご相談ください。

<レンズの紛失、破損に関するお問い合わせ>

コンタクトレンズは高度管理医療機器のため、
眼科医の処方が必要です。
処方を受けた眼科・クリニックにご相談ください。

<レンズに関するお問い合わせ>

処方を受けた眼科・クリニック、もしくは
株式会社サンコンタクトレンズ
お客様相談窓口:0120-02-5565(フリーダイヤル)
9:00~17:00(土・日・祝日は除く)
ホームページ :<https://www.sun-con.com/>

終日装用/連続装用

酸素透過性ハードコンタクトレンズ

取扱説明書



INDEX

警告、禁忌・禁止	P.2
<ケア用品のご紹介>	P.3
<レンズケア>	P.5
レンズを取扱う前に	
レンズをはめる前のケア	
レンズをはずした後のケア	
レンズ保存ケースの管理方法	
こんなときは	
・レンズを長期間保存する場合	
・レンズの汚れがひどい場合	
<使用方法>	P.7
レンズのはめ方	
レンズのはずし方	
レンズがズレたときの直し方	
<装用サイクル>	P.10
終日装用の場合	
連続装用の場合	
<装用スケジュール>	P.11
終日装用の場合	
連続装用の場合	
<定期検査>	P.12
終日装用の場合	
連続装用の場合	
<使用上の注意>	P.13
目の安全を守るための注意	
レンズを破損、汚れなどから守るための注意	
装用上の注意	
高齢者・妊婦・産婦・小児等の使用について	
その他の注意	
装用中の症状と対処方法	
<保管方法、包装、製造販売業者の名称・住所等>	P.15

【警告】

1. コンタクトレンズ(以下、レンズ)の装用により、角膜潰瘍、角膜炎(感染性角膜炎を含む)、角膜浸潤、角膜びらん等の角膜上皮障害、角膜浮腫、結膜炎(巨大乳頭結膜炎を含む)、虹彩炎、角膜血管新生等が発症する可能性及び角膜内皮細胞の減少を早める可能性があります。
2. レンズの装用による眼障害の中には、治療せずに放置すると失明につながるものがあります。上記の眼障害を起こさないようにするためにも、レンズを使用する際は次のことを守ってください。
 - (1) 連続装用の承諾書と管理手帳の内容を守ること(連続装用を許可された場合)
 - (2) 装用時間・日数を正しく守ること
レンズの装用時間・日数には個人差があります。眼科医から指示された装用時間・日数を守ってください。
 - (3) 取扱い方法を守り正しく使用すること
レンズやケア用品の取扱い方法を誤ると眼障害につながります。レンズやケア用品(特にレンズケース)は、清潔に保ち、正しい取扱い方法で使用してください。
 - (4) 定期検査を受けること
自覚症状がなく調子よく装用していても眼やレンズにキズがついたり、眼障害が進行していることがあります。異常がなくても眼科医に指示された定期検査を必ず受けてください。
 - (5) 異常を感じたら直ちに眼科を受診すること
レンズ装用前に眼やニや充血がないか、また装用後も異物感等がないか確認し、異常を感じたら、眼科を受診してください。
 - (6) 破損等の不具合があるレンズは絶対に使用しないこと
装用前に、レンズに破損等の不具合がないか必ず確認してください。装用中にレンズの破損等による自覚症状が発生し、自覚症状が改善しない場合は眼科を受診してください。

【禁忌・禁止】

1. 適用対象(患者):次の人は使用しないこと
前眼部の急性及び亜急性炎症
眼感染症
ぶどう膜炎
角膜知覚低下
レンズ装用に問題となる程度のドライアイおよび涙器疾患
眼瞼異常
レンズ装用に影響を与える程度のアレルギー疾患
常時、乾燥した生活環境にいる人
粉塵、薬品等が眼に入りやすい生活環境にいる人
眼科医の指示に従うことができない人
レンズを適切に使用できない人
定期検査を受けられない人
レンズ装用に必要な衛生管理が行えない人
2. 使用方法
自分のレンズを他人に渡したり他人のレンズを使用しないこと

ケア用品のご紹介

ケア用品の種類によってはレンズの変形や変質を引き起こす可能性があります。弊社のコンタクトレンズには弊社のケア用品をお使いください。



サンパーフェクトケア

酵素洗浄保存液 ケアマイルドプラス

洗浄

保存

しっとり

数種類の界面活性剤の配合により、タンパク汚れだけでなく脂質汚れもきれいに落とします。

リビジュア®をプラスし、優れた保湿度により、乾燥しにくい装着感と、レンズへの汚れの付着を防ぎます。

雑菌の増殖を防ぐので、レンズも保存ケースもいつも清潔。

抗菌力は使い切るまで持続します。

レンズのこすり洗い、保存にご使用ください。

※リビジュアは日油株式会社の登録商標です。



360mL
(約3カ月分)

120mL
(約1カ月分)

研磨剤入り強力洗浄液 マイクリア

洗浄

レンズに付着した落ちにくいタンパク質・脂質・化粧品などの汚れを、研磨剤と界面活性剤の力で除去する強力洗浄液です。強力な洗浄力で、レンズをすっきり、クリアにします。毎日使用してもレンズに影響がないように成分を配合していますので、レンズを装用中に汚れやくもりが気になった時や保存前のお手入れにご使用ください。

※よく振ってからご使用ください。



コンタクトレンズ装着薬 しっとりフィットS

しっとり

うるおい成分により、レンズ装着時の異物感や刺激、装着中の乾燥感をおさえます。

角膜に栄養を与えるアミノ酸成分をダブルで配合しています。レンズの装着時に1〜3滴ずつご使用ください。

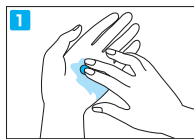
※防腐剤にベンザルコニウム塩化物を使用していません。



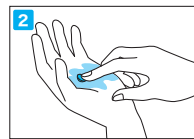
レンズの汚れが気になる方におすすめのレンズケア

3ステップでレンズ装用を快適に

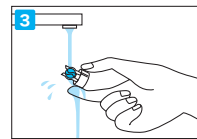
STEP 1 洗浄 (マイクリア)



凹面を上にして、中指を添えてレンズを安定させ、外面をこすり洗います。

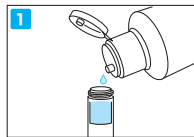


凹面を上にして、人差し指で内面の汚れを掻き出すようにして洗う。

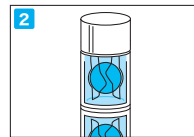


レンズを保存ケースのクリップにはさみ、水道水で充分すすぐ。

STEP 2 保存 (ケアマイルドプラス)



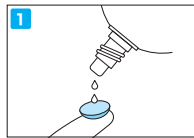
保存ケースに「ケアマイルドプラス」を8〜9分目まで入れる。



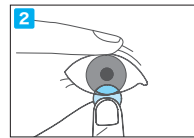
レンズ保存ケースのキャップをしっかりとめ、保存液にレンズ全体が充分浸かっているかを確認する。

「ケアマイルドプラス」1本で洗浄・保存・タンパク除去ができますが、汚れが気になる場合は、「マイクリア」をご使用ください。

STEP 3 装用 (しっとりフィットS)



レンズに「しっとりフィットS」を1〜3滴落とす。



そのままレンズを装着する。

レンズケア

レンズケアは、洗浄や保存など、レンズを安全・快適に使用するためにとても重要です。レンズを装着していると、涙液中のタンパクや脂質などがレンズに付着します。毎日のレンズケアをおこたったり、正しい方法を行わないと、レンズに付着した汚れが取れにくくなり、眼障害が発生したり、レンズが使用できなくなる可能性があります。

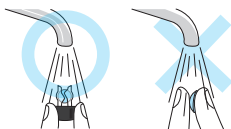
装着前、装着後には必ずレンズケアを行ってください。

レンズを取扱う前に

- レンズを取扱うときは、爪を短く切り、丸くなめらかにしてください。
- レンズを取扱う前には、必ずせっけんで手や指を十分に洗い、清潔にしてください。
- レンズを着脱するときは、爪を立てたり、指先が直接目に触れないようにしてください。

<出荷ケースから初めて装着する場合>

- ① レンズを出荷ケースから取り出し、ケアマイルドプラスでこすり洗いしてください。
- ② レンズクリップにレンズを入れ、水道水ですすいでから装着してください。

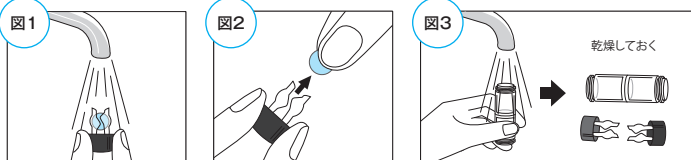


指でこすりながら流水ですすぐ方法はくもりの原因になります。

くもりなどが生じた場合は、ケアマイルドプラスに20～30分浸けるか、マイクリアで洗浄してください。

レンズをはめる前のケア

- ① レンズクリップにレンズを入れたまま水道水で充分すすぎます(図1)。
- ② レンズクリップからレンズをはずし、レンズを装着します(図2)。
- ③ 空のレンズ保存ケースは水道水でよく洗い、自然乾燥してください(図3)。

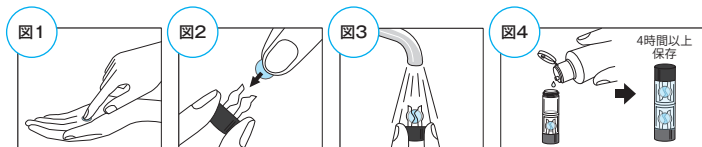


「流出防止ケアマット」のご使用をおすすめします。

排水口の上に置くことにより、レンズが流れてしまう心配がないので、レンズをていねいに洗うことができます。

レンズをはずした後のケア

- ① レンズ凹面を上にして手のひらにのせ、ケアマイルドプラスを数滴つけ、指先でこすり洗いをします(図1)。
- ② 洗浄したレンズをレンズクリップに入れ(図2)、水道水ですすぎます(図3)。
- ③ レンズ保存ケースにケアマイルドプラスを8～9分目入れます(図4)。
- ④ レンズをレンズ保存ケースに入れ、キャップをしっかりとめます。
- ⑤ レンズ全体が、ケアマイルドプラスに充分浸かっていることを確かめ、4時間以上保管してください。



「流出防止ケアマット」のご使用をおすすめします。

排水口の上に置くことにより、レンズが流れてしまう心配がないので、レンズをていねいに洗うことができます。

レンズ保存ケースの管理方法

- 使用後のレンズ保存ケースは中の液を捨て、よく洗った後、自然乾燥していつも清潔を保ってください。
- レンズ保存ケースは定期的にし新しいものと交換してください。

こんなときは

レンズを長期間保存する場合

- ① レンズにケアマイルドプラスをつけ、軽くこすり洗いし、水道水ですすぎます。
- ② レンズ保存ケースにケアマイルドプラスを8～9分目入れます。
- ③ レンズをレンズ保存ケースに入れ、キャップをしっかりとめます。

- ・直射日光をさけて室温で保存してください。
- ・定期的(1か月に1回を目安)にケアマイルドプラスを入れ替えてください。

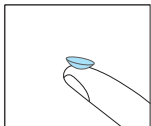
レンズの汚れがひどい場合

汚れがひどい場合はマイクリアを用いてこすり洗いしてください。

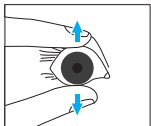
使用方法

レンズのはめ方

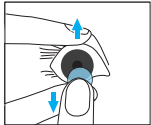
方法 1



レンズをはめる方の目と反対側の人差指の先(なるべく先端の方)にレンズの凹面を上向きにしてのせます。

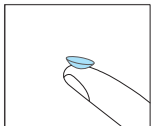


もう片方の人差指と親指を、まぶたの縁(まつげの生え際)にあて、目を大きく開きます。

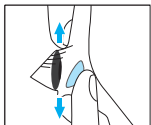


レンズをのせた指は鼻と平行にして、もう片方の目で鏡を見ながら、角膜(クロメ)にレンズをそっとのせます。

方法 2



右手人差指にレンズをのせます。



右手中指で下まぶたを下の方に引き、左手人差指でまぶたを引き上げて、レンズを角膜(クロメ)の上にそっとのせます。

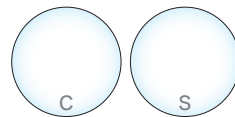
はめ方のポイント

- ・目をできるだけ大きく開けること
- ・角膜(クロメ)を中央にもってくること
- ・レンズが目にとってもすぐに目を閉じないこと
- ・反対側の目も開けておくこと

レンズ左右が分からなくなったときは・・・

→レンズに刻印がないか、確認してください

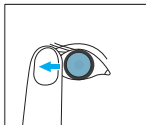
左レンズの端に「C」や「S」の記号を刻印しています。ライトなどの光にかざして確認してみてください。記号がない、もしくは両眼に入っている場合もありますので、不明な際は眼科にご相談されることをおすすめします。



記号があるのは
左眼のレンズ

レンズのはずし方

方法 1

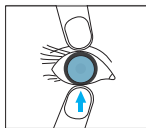


目を大きく見開きます。
はずす方の人差指で、目尻を押さえ耳側に引っばります。最後まで目を大きく見開くようにしてください。

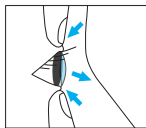


もう片方の手のひらでレンズを受けてください。

方法 2



はずす方の目と同じ側の人差指で上まぶたを押さえ、反対側の人差指で下まぶたを押さえます。



上まぶたを少し上げて、まぶたの縁を目に押しつけて、下まぶたの縁ですくい上げるようにして、レンズをはずしてください。そのとき、レンズがまぶたの中にもぐり込まないようにしてください。

はずし方のポイント

- ・まぶたの縁がレンズをはさめるように、目を大きく開けること
- ・レンズの紛失を防ぐため、慣れるまでは机の上にタオルを広げ、机に体を付けるとレンズが落ちて探しやすい

レンズがズレたときの直し方



レンズが耳側にズレたとき

- ① 顔を正面に向け鏡を鼻側に持ち、目だけ鏡の方を見ると、レンズが正面の方にでできます。
- ② 人差し指で目尻を押さえてレンズの移動を止め、鏡をゆっくり耳側に動かし、角膜(クロメ)をレンズのところまで戻します。



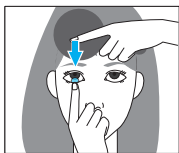
レンズが鼻側にズレたとき

- ① 顔を正面に向け鏡を耳側に持ち、目だけ鏡の方を見ると、レンズが正面の方にでできます。
- ② 人差し指で目頭を押さえてレンズの移動を止め、鏡をゆっくり鼻側に動かし、角膜(クロメ)をレンズのところまで戻します。



レンズが上方にズレたとき

- ① 顔を正面に向け鏡を下方に持ち、目だけ鏡の方を見ると、レンズが正面の方へでできます。
- ② 人差し指で上まぶたを軽く引き上げて押さえ、レンズの移動を止めます。鏡をゆっくり上方に動かし、角膜(クロメ)をレンズのところまで戻します。



レンズが下方にズレたとき

- ① 顔を正面に向け鏡を上方に持ち、目だけ鏡の方を見ると、レンズが正面の方へでできます。
- ② 人差し指で下まぶたを押さえてレンズの移動を止め、鏡をゆっくり下方に動かし、角膜(クロメ)をレンズのところまで戻します。

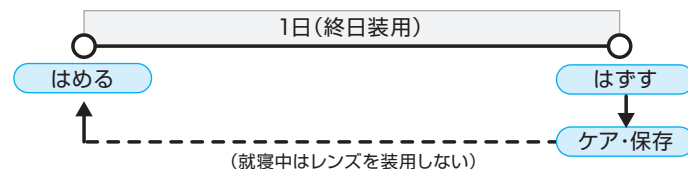
直し方のポイント

- ・シロメの奥は袋状になっていて、レンズが目の裏側に行くことはありませんので、あわてずゆっくり探すこと
- ・どうしても取れない場合は眼科を受診すること
- ・レンズに直接指を触れて動かすと、目にキズをつける場合があるので、絶対にしない

装用サイクル

終日装用の場合

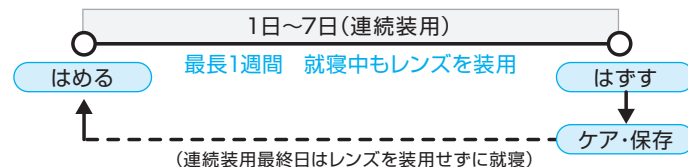
起きている間に装用し、寝る前に必ずはずしてください。



連続装用の場合

※サンコンマイルドUVは眼科医の指示により連続装用での使用も可能です。

1~7日の連続装用を行い、はずした日にレンズケアを行ってください。はずした日は装用をしないで就寝してください。



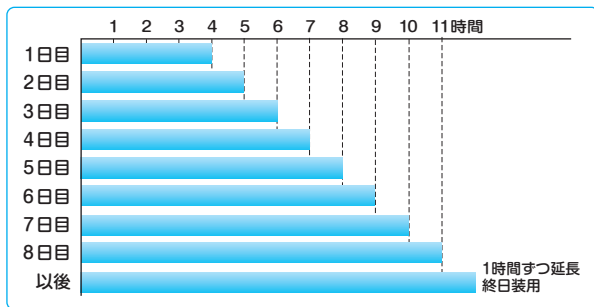
連続装用は、涙液の量、アレルギー体質などにより、希望してもできない場合があります。連続装用は必ず眼科医の許可を得て開始してください。また、許可された場合は、管理手帳等の連続装用に関する注意事項も併せてお読みください。

装用スケジュール

終日装用の場合

1日目の装用は短時間から始め、その後少しずつ時間を延長してください。なお、装用可能な時間には個人差があります。処方を受けた眼科医に相談し、くれぐれも無理な装用をしないように注意してください。

平均的な装用スケジュール



装用を中断した場合

- ・1週間未満の中断: 普段どりの装用が可能です。
- ・1週間以上の中断: 短時間から再開し、少しずつ延長してください。
- ・1ヵ月以上の中断: 眼科医の検査を受けてから装用を開始してください。

連続装用の場合 ※サンコンマイルドUVは眼科医の指示により連続装用での使用も可能です。

快適に終日装用ができるようになれば、眼科医に指示されたスケジュールに従って連続装用に移行してください。

装用を中断した場合

- ・1週間未満の中断: 初日から連続装用が可能です。
- ・1週間以上の中断: 2～3日終日装用後に連続装用し、翌日に受診してください。
- ・1ヵ月以上の中断: 必ず眼科医の診察を受け、終日装用に戻り、再開してください。

定期検査

コンタクトレンズを安全・快適に使用するためにはレンズが目には適合しているか、レンズに異常がないかなどを定期的に検査する必要があります。レンズの調子が悪いときはもちろんですが、調子のよいときでも、定期検査を受けてください。定期検査スケジュールは、それぞれ人によって異なります。処方された眼科医の指示に従って検査を受けてください。

終日装用の場合

レンズ装用開始日から1週間後、1ヵ月後、3ヵ月後、以降3ヵ月毎、または眼科医の指示に従って必ず定期検査を受けてください。

一般的な定期検査スケジュール



連続装用の場合 ※サンコンマイルドUVは眼科医の指示により連続装用での使用も可能です。

連続装用の翌日、1週間後、2週間後、以降1ヵ月毎、または眼科医の指示に従って必ず定期検査を受けてください。

一般的な定期検査スケジュール



使用上の注意

目の安全を守るための注意

- 弊社指定以外のケア用品を使用した場合、レンズの品質に悪い影響(劣化、変形など)を及ぼす恐れがあります。
- 装着時間は眼科医の指示に従い、正しく守ってください。
- 添付文書に記載された取扱方法を守り、使用してください。
- 定期検査は必ず受けてください。
- 少しでも目に異常(異物感、痛み、充血、眼脂、視力低下など)を感じたら、すぐに眼科医の検査を受けてください。
- レンズのケアは必ずしてください。
- レンズの劣化、変形、変質や汚れの蓄積が生じた場合、すぐに眼科医の検査を受け、その指示に従ってください。
- レンズ装着中に目薬を使用する場合は、必ず眼科医の指示に従ってください。

レンズを破損、汚れなどから守るための注意

- 手や指をせっけんできれいに洗ってください。
- レンズを取扱うときは、爪を短く切ってなめらかにしてください。
- 専用のケア用品を使用し、正しい洗浄、保存をしてください。
- レンズに強い力を加えないでください。
- レンズ保存ケースから出し入れする際に、レンズにキズを付けないでください。
- レンズを持つときは、指の腹でそとはさむように持ってください。
- 化粧品や薬品、有機溶媒(アセトン、ベンジンなど)などをレンズに付着させないでください。
- レンズをティッシュペーパー、ハンカチ、メガネ拭きなどで拭かないでください。
- レンズを熱いお湯につけないでください。煮沸による消毒はできません。
- レンズを冷蔵庫で保管しないでください。

装着上の注意

- 装着前に必ずレンズに変形、変色、異物の付着、キズや汚れなどの異常がないか確認してください。
- レンズの左右を間違えないために、いつも決まった側(右または左)から取扱ってください。
- 装着中に目をこすらないでください。
- 水泳、洗顔をするときはレンズをはずしてください。
- レンズを装着したままスポーツをする場合は、眼科医に相談してください。

高齢者・妊婦・産婦・小児等の使用について

- 高齢者の使用で、本人による「はめ」「はずし」が困難な場合は、眼科医に相談の上、その指示に従ってください。
- 目は生体ですから、妊娠、出産など体調の変化や生活環境によって、レンズの装着状態に変化がおこる場合があります。詳しくは、眼科医に相談してください。
- 小児が使用する場合は、保護者の指導監視のもとに使用してください。

その他の注意

- レンズは明るく清潔な場所で取扱ってください。
- レンズを洗面台などで取扱うときは、排水口に栓をするか、流失防止マットなどを用いてください。
- レンズに慣れるまでは、車の運転などは行わないでください。
- 車などの運転中にレンズがズレたり、はずれたり、見えにくくなった場合は、周囲の安全を確認し、運転を中止してください。
- 特に遠近両用レンズ(バイフォーカルタイプ)の場合、夜間やトンネル内で車などの運転中には、十分に注意してください。ライトのにじみやまぶしさなどで、運転に支障をきたすことがあります。
- 海外でレンズを使用する場合、レンズのケア用品は、国によって販売されている製品が異なります。現在お使いのケア用品を使用してください。また、水道水については使用できるかどうかご確認ください。レンズの破損、紛失に備え、スペアレンズを用意されることをおすすめします。

装着中の症状と対処方法

- はっきり見えたり、ぼやけたりする
レンズに慣れていない間は、まばたきの度にはっきり見えたりぼやけたりします。これは涙の量が多いため、慣れるに従って少しずつ安定してきます。
- まぶしい
涙の量が多いため、慣れるに従って解消します。
症状が解消しないときは、眼科医の検査を受けてください。
- はずした後、目がかすむ
レンズをはずした後、霧がかかったように見えることがあります。これは、一時的な角膜浮腫(クロメのはれ)で、すぐになおります。2~3時間以上続くときは眼科医の検査を受けてください。
- 痛い
はめた直後、しみたり痛んだりするときは、レンズの汚れや保存液などのすずぎが充分でなかったり、レンズにひび割れやカケがあったりする可能性があります。レンズをはずして表面をよく確認し、ひび割れやカケがない場合は、もう一度レンズをよく洗浄してください。ひび割れやカケがあったり、どうしても汚れが取れなかったりする場合は、必ず眼科医の検査を受けてください。レンズをはずした後に痛むときは、装着時間を急激に延長した場合などに見られ、角膜(クロメ)表面の代謝障害が原因と思われる。眼科医の検査を受けてください。
- くもる
レンズが汚れている場合は、レンズをよく洗浄してください。
汚れ以外にくもる原因は、①まばたきのときにレンズの動きが少ないため、涙の交換が悪くなりくもる場合(充血をとまなう)、②涙がレンズの内面にばかり流れるために、表面が乾いてくもる場合があります。このようなときは、眼科医の検査を受けてください。
- 異物感
充血や激しい流涙をとまなわない異物感は、次第に慣れますが、充血や流涙があれば、レンズの周辺が角膜(クロメ)の周辺を刺激している場合があります。眼科医の検査を受けてください。
- レンズの位置と動き
レンズは、まばたきの度に角膜(クロメ)の表面をゆっくり動いていますが、つねに中央部の瞳孔(ひとみ)をおおっています。レンズの位置はだいたい瞳孔(ひとみ)を中心にして、目の動きよりやや遅れて動いているのが普通で、ピタリと張り付くと痛くなることがあります。レンズに慣れていない間は、涙の量が多いため動きの幅が大きくて気になりますが、慣れるに従って少しずつ安定してきます。